

# 1. 事業概要

---

Outline



## 【1】 文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」とは

### (1) 目的

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」は、大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図る。

(2) 事業実施者： 文部科学省

(3) 事業対象： 国公立の大学、短期大学及び高等専門学校

(4) 事業期間： 5年間

(5) 採択： 平成26年度は、各大学等から237件の申請があり、25件採択  
※平成25年度は、各大学等から319件の申請があり、52件採択



## 【2】 弘前大学の事業概要

弘前大学は平成26年度の文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の公募にあたり、以下のテーマ・内容にて申請し、採択された。

(1) 事業名： 青森ブランドの価値を創る地域人財の育成

(2) 連携自治体： 青森県、弘前市

### (3) 概要

平成26年度「地(知)の拠点整備事業」で採択された「青森ブランドの価値を創る地域人財の育成」は、青森県における人口減少等の地域課題の克服に向け、青森を愛する気持ちを礎として新しい未来を切り開き、地域の産業・生活・社会システムに新たな価値を創造できる「青森ブランド地域先導人財」を育成する。

本事業では、青森県、弘前市及び地域企業等との協働により、青森県が抱える多種多様で分野横断的・複合的な課題を解決するため、産官学民のネットワークを整備し、育成する人財像、教育内容等への地域ニーズの反映、自治体職員・地域人財の教育参画等を得て、地域志向教育を実践し地域に還元するものであり、弘前大学の教育・研究・社会貢献が一体となって地域を志向し、地域の課題解決に挑み、地域再生・地域活性化の実現に貢献する。

## 【3】 地域の課題

### 1. 青森県

#### ■ 青森県基本計画「未来を変える挑戦」

アグリ(農林水産業)・ライフ(医療・健康・福祉産業)・グリーン(環境・エネルギー産業)ごとに政策・施策を設定し、以下の分野横断的な戦略プロジェクトに取り組む。

##### (1)人口減少克服プロジェクト

子育て支援、雇用創出・拡大、安全で快適な生活環境、観光・交流人口増

##### (2)健康長寿県プロジェクト

自然・食環境の活用、生活習慣の改善、適切な治療、スポーツ

##### (3)食でとことんプロジェクト

県内産品の多角的な価値創出、食の価値を高める、外貨獲得・域内循環

### 2. 弘前市

#### ■ 弘前市アクションプラン2013

超少子高齢化社会を見据え、以下の最重要課題等を設定した。

- ① 子育て(人づくり)    ② 健康    ③ 雪対策(安全安心)    ④ 市民参加型社会の実現

## 【4】 課題解決のための弘前大学の取組

地域の課題解決のため、弘前大学は「教育」「研究」「社会貢献」の各事業において、以下の内容に取り組む。

### 1. 教育

- ・文理融合、青森に関する学修の充実。
- ・教育の質を保証する学生自身のPDCA (Plan/Do/Check/Action)サイクルの確立。

### 2. 研究

- ・文理を融合した共同研究による「青森ブランド」の価値を創造。

### 3. 社会貢献

- ・地域課題解決のための多様なプログラムの開発、提供。
- ・地域の人々と学生が協働する社会参画の仕組みを構築。

## 【5】 本学で育成する「地域志向型人財」

1. グローバルマインドを持ち、地域に対する愛着、地域の創造を目指す意欲をもった人財。
2. 複雑化する地域課題に文理の枠を越えて、総合的にアプローチできる文理融合型の人財。
3. 獲得した専門知を活用して、地域の課題解決を主導できる人財。

大学等名：国立大学法人弘前大学（連携自治体：青森県、弘前市）  
事業名：青森ブランドの価値を創る地域人財の育成

人口減少等の課題を克服し、「青森ブランド」価値の創造を目指す青森県、弘前市と協働し、大学が一体となり、青森を愛する気持ちとして新しい未来を切り開き、地域の産業・生活・社会システムに新たな価値を創造できる「青森ブランド地域先導人財」を育成する。

地域課題

【青森基本計画「未来を変える挑戦」】  
アグリ(農林水産業)・ライフ(医療・健康・福祉産業)・グリーン(環境・エネルギー産業)ごとに政策・施策を設定し、以下の分野横断的な戦略プロジェクトに取り組む。

1. 人口減少克服プロジェクト  
子育て支援、雇用創出・拡大、安全で快適な生活環境、観光・交流人口増
2. 健康長寿県プロジェクト  
自然・食環境の活用、生活習慣の改善、適切な治療、スポーツ
3. 食でとことんプロジェクト  
県内産品の多角的な価値創出、食の価値を高める、外貨獲得・域内循環

【弘前市アクションプラン2013】  
超少子高齢化社会を見据え、以下の最重要課題等を設定した。

1. 子育て(人づくり)
2. 健康
3. 雪対策(安全安心)
4. 市民参加型社会の実現

弘前大学における取組

教育

- 文理融合型／地域特定課題を解決できる人財育成
- 地域「実践力」を育成する初年次教養教育
  - ✓ 地域を対象とした課題解決型学習や科目群「ローカル科目」の必修化
- 入学から卒業までの「地域を志向したキャリア教育」
- 「専門知」と「地域の課題」を交差させる「専門力」を育成
  - ✓ 文理融合型人財育成のため科目群「学部越境型地域志向科目」を新設・必修化
  - ✓ 地域特定プロジェクト志向専門人財育成のための教育プログラムの開発と本学独自の称号の付与

教育の質の保証

- ルーブリック(評価基準)とe-ポートフォリオ(学修のふりかえり)を活用した学生自身のPDCAサイクルの確立

研究

- 学内競争的資金における人財育成「地域研究型」の新設
- 文理融合的な地域志向の多領域共同研究による「青森ブランド価値創造研究」の実施
- 産官学の対話型ワークショップによるイノベーション創出

社会貢献

- 産官学を結ぶPDCAエンジンの構築
- ライフステージに応じた学習機会の提供／履修証明制度による系統的な公開講座の実施

【事業の成果目標】

	26年度	30年度(目標値)	26年度	30年度(目標値)
教育	91科目	200科目	5件	30件
地域志向科目履修者数	3,856人	15,000人	1件	6件
地域課題をテーマとした卒業論文数	66編	120編	16件	50件
県内就職希望率	36.8%	50%	1,457人	6,000人
※地域志向科目とは本事業の目的に沿った人財育成のための授業科目			211人	612人

【期待される学内外・地域社会等への波及効果】

- (学内) 学長のリーダーシップによる大学改革の実現
- (学外) 青森地域の産官学民の連携強化(地域社会) 産業発展等による地域活性化、住民が健康で暮らしやすい地域づくりの実現